

令和7年度 先進都市視察 報告書

大阪府南部市議会議長会

報告市議会	泉大津市議会
報告者	議長 大塚英一 副議長 村田雅利 事務局長 橋本幸男
視察日時	令和7年8月7日(木) 10:00～12:00
視察先	神奈川県横須賀市
視察内容	議会改革の取組みについて
概要	<p>2日目は、神奈川県横須賀市議会へお問い合わせいただき、茅ヶ崎市議会と同様に、議会改革の取組みについてご教示いただいた。</p> <p>横須賀市は、神奈川県の南東部に位置し、総面積は100.81km²で神奈川県では7番目に広い面積を有している。令和7年4月1日時点の人口は、367,698人の中核市である。</p> <p>横須賀市議会は、早稲田大学マニフェスト研究所の議会改革度調査ランキング2024では、関東地方6位、全国24位になるなど、議会改革における高い評価を受けている。</p> <p>同市では、土田副議長及び小菅議会局長から歓迎の挨拶を受けた後、沼田議会局議事課課長補佐等からそれぞれ「政策検討会議について」、「横須賀市議会災害時BCPについて」の説明を受けた。</p>
所見	<p>まず、「政策検討会議について」、横須賀市議会では、議会全体で政策立案(条例制定または政策提言)を行い、課題解決に寄与すること、議員の任期(4年間)で議会が取り組むべき課題を協議し、計画的に取り組むことを目的に、平成29年3月24日議会基本条例に基づき、「政策検討会議」を設置した。</p> <p>同市議会では、1期4年間で取り組むべく課題を協議し、政策形成サイクル(P)、4年間の実行計画策定と進捗管理(D)、政策素案の策定、条例議案提出(C)、課題別検討会議提案による条例等の検証と評価(A)を行い、課題別検討会議提案による条例等の報告と反映を回しながら、政策等の検証を明確に構築されている。</p> <p>議員任期4年を1つのスパンとして政策立案を行なっていく手法は、大変興味深く、平成29年からほぼ毎年のように条例制定や政策提言を行なっている点は、議員と議会事務局の志の高さや献身的な各種対応等に支えられていると感じた。</p> <p>本市議会においても、政策提言を行う姿勢は非常に重要であり、現在、本市議会広報公聴委員会での取り組みなども踏まえ、全議員(16人)の総意として、政策提言が行えるよう、政策力と調査力のある市議会を目指し、努めるものである。</p> <p>また、「議会BCPの取組みについて」は、本市議会においても策定をしており、参考にさせていただいた滋賀県大津市議会を横須賀市議会も参考されているということもあり、共通しているところが多いと感じた。</p> <p>議場における被災時の対応訓練で、本会議中に地震が発生した想定で訓練されており泉大津市議会でもこうした訓練を行うことが重要であると感じた。</p>